

(別添)

News Release

2019年 6月 27日

NITE (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所

エアコン・扇風機の事故に注意 ～6月から急増！火災事故～

1. 事故の発生状況

2013年度から2017年度までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、エアコンや扇風機に関する事故は、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で11件^{※2}ありました。

(1) 県別の年度別事故発生件数

エアコン、扇風機に関する県別の年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 エアコン、扇風機に関する県別の年度別事故発生件数（2013～2017年度）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2013年度		1	2	0	3
2014年度		0	1	0	1
2015年度		0	0	0	0
2016年度		2	1	0	3
2017年度		0	3	1	4
計	事故件数	3	7	1	11
	火災件数	[3]	[7]	[1]	[11]

(2) 県別の被害状況別事故発生件数

エアコン、扇風機に関する県別の被害状況別事故発生件数を表2に示します。

表2 エアコン、扇風機に関する県別の被害状況別事故発生件数（2013～2017年度）^{※3}

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	3	6	1	10
	製品破損	0	1	0	1
被害なし		0	0	0	0
合計		3	7	1	11

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数

※3:表2において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. エアコン、扇風機の事件事例

①エアコンの洗浄作業等及びエアコンの構造の影響により発生した事故

・2013年8月（富山県、男性、40歳代、拡大被害）

【事故の内容】

エアコンを使用中、エアコンから出火する火災が発生し周辺を焼損した。

【事故の原因】

エアコンのファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が付着・浸入し、さらにエアコン内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこむことによって、トラッキング現象が生じ、発煙・出火に至ったものと考えられる。

②扇風機のモーター用コンデンサーの経年劣化により発生した事故

・2013年9月（石川県、性別年齢不明、拡大被害）

【事故の内容】

学校で扇風機を使用中、扇風機を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

扇風機の長期使用（40年以上）により、モーター用コンデンサーが絶縁劣化して内部短絡が生じたため、コンデンサーから出火したものと考えられる。

③エアコンの設置施工業者の施工不良により発生した事故

・2017年11月（石川県、女性、70歳代、拡大被害）

【事故の内容】

使用中のエアコン付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

施工業者が室内機の電源コードを途中で切断し、別の電線と圧着スリーブにより接続したため、接続部で接触不良が生じて異常発熱し、発火したものと考えられる。なお、取扱説明書及び据付工事説明書には、「電源コードの中間接続は行わない。火災の原因となる。」旨、記載されていた。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 技術課

担当者 樋口、矢代

電話：076-231-0435

以上